

No.	研修日	研修形態	参加議員名 ※	< ■研修先 / ★研修項目 >
1	平成30年 4月23日～24日	議会運営委員会	秋山 忠敏(正) 石山 秀和(副) 篠原 重寿 大矢 一夫 大平 直昭 安藤 康次 伊丹 準二 立石 隆男 詫間 茂	■ 兵庫県西脇市
				★ 議会改革と予算の委員会付託について
				■ 大阪府大東市
				★ 通年議会について
2	平成30年 5月8日～9日	広聴広報委員会	井下 尊義(正) 石山 秀和(副) 友枝 俊陽 五味 伸亮 篠原 和代 豊浦 孝幸 合田 隆胤	■ 福岡県古賀市
				★ 議会だよりについて
				■ 山口県山陽小野田市
				★ 広聴広報の取組について
3	平成30年 5月16日～18日	総務委員会	安藤 康次(正) 篠原 和代(副) 大賀 正三 石山 秀和 立石 隆男 五味 伸亮 藤田 均	■ 熊本県荒尾市
				★ 子ども未来基金事業について
				■ 長崎県島原市
				★ シェアリングエコノミーシティ宣言事業について
				■ 長崎県雲仙市
				★ 定住促進奨励補助金事業について
4	平成30年 5月21日～23日	建設経済委員会	大矢 一夫(正) 豊浦 孝幸(副) 大久保 隆敏 井上 浩司 詫間 茂 井下 尊義 白川 雅仁	■ 神奈川県鎌倉市
				★ クラウドファンディングによる観光施設整備事業について
				■ 千葉県佐倉市
				★ 企業支援・企業誘致について
				■ 千葉県千葉市
				★ 企業・創業支援、商店街・中心市街地の活性化について
5	平成30年 5月21日～23日	文教民生委員会	伊丹 準二(正) 友枝 俊陽(副) 秋山 忠敏 篠原 重寿 大平 直昭 合田 隆胤	■ 東京都台東区
				★ 認定こども園について
				■ 東京都府中市
				★ 学校給食センターについて
				■ 東京都稲城市
				★ 介護支援ボランティア制度について
■ 神奈川県横須賀市				
	★ エンディングプラン・サポート事業について			

平成30年度 観音寺市議会 個人研修状況

No.	研修日	研修形態	参加議員名 ※	< ■研修先 / ★研修項目 / ◆報告・感想 >
1	平成30年 7月3日～5日	個人行政視察	秋山 忠敏 大賀 正三 立石 隆男 豊浦 孝幸 井下 尊義 篠原 和代 大矢 一夫 安藤 康次 詫間 茂 伊丹 準二 友枝 俊陽 合田 隆胤 石山 秀和 白川 雅仁	<p>■ 東京都町田市</p> <p>★ 障がい者の就労支援について</p> <p>◆ ①町田リス園は、当初「通所授産施設」として設立。2011年4月から「障害者自立支援法に基づく就労継続支援B型施設」へと移行。 ②町田市では、障がいを持つ方々の働く場の提供と同時に、障がい理解につなげることができていると感心させられた。 ③運営面においても、入場料やリスの餌の販売、売店の売り上げ等で市の財政負担が少なく運営されているようだ。本市においても、福祉施策の一環としてまた、子どもたちと小動物のふれあいの場として検討していくのも良いと感じた。</p> <p>■ 国会議事堂</p> <p>★ 国会議員へ陳情、防衛省、国土交通省</p> <p>◆ ①現段階における防衛政策や、我が国を取り巻く安全保障環境について学び得ることができた。 ②観音寺スマートインターチェンジ整備について、早期実現に向けた陳情を行った。地方の現状を国の担当部局に理解してもらおうという事は、事業の進展に大きく関わるため、今後も継続していきたい。 ③本市の地域産業基盤強化等には、物流機能の強化が必要。また大規模災害時に備えた緊急輸送道路の機能強化になお一層の尽力をつくしていこうと感じた。</p> <p>■ 東京都大田区</p> <p>★ 特区民泊について</p> <p>◆ ①大田区は、全国に先駆けて特区民泊を実施。 ②メリット・デメリット相互あるが、インバウンドなどにより外国人観光客の増加に、既存施設だけではなく、民泊が担う役割や経済効果など様々な点について考えさせられた。 ③民泊新法の活用次第で、国内外からの旅行者の利便性を高めるだけではなく、地域の魅力を高めたり新たな活力を生み出したりするツールにもなりそうだと感じた。</p>
2	平成30年 10月16日～19日	個人行政視察	大平 直昭 五味 伸亮 井上 浩司 篠原 重寿 藤田 均 (一部別行程)	<p>■ グラウンドワーク三島(静岡県三島市)</p> <p>★ グラウンドワーク三島について</p> <p>◆ ①グラウンドワークとは、英国発祥の市民・NPO・行政・企業のパートナーシップによる環境改善活動で、「地域協働」による地方創生を実現するための新たなまちづくりの手法である。 ②グラウンドワーク三島は、三島市の水質悪化を背景に環境保全を目的として立ち上げられた団体のネットワークで、構成員は自営業者や公務員が中心となり多様な団体が参加している。 ③財政的には、参加市民団体からの拠出金、企業からの賛助金・寄付金、行政からの補助金などが収入源になっており、また資材提供や機材供与、労力提供など様々な形で支援を受けている。</p> <p>■ 神奈川県川崎市</p> <p>★ 健幸福寿プロジェクトについて</p> <p>◆ ①高齢者の自立支援に向けた質の高いケアを評価する仕組みの構築を目指して平成26年度から開始されたプロジェクトで、「要介護度」「ADL(日常生活動作)」等の改善・維持を評価対象としている。 ②要介護度の改善・維持に資する質の高いケアを提供する事業者にインセンティブを付与することで、取り組み意欲の向上を促進し、より質の高いケアが提供される好循環の構築を目指している。 ③居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)を中心とした多職種の連携(通所リハ・訪問看護・デイサービス)による相乗効果により、質の高いサービスの提供を行い、その成果について評価を行っている。また、特別養護老人ホームやグループホームにおいても同様に、配置される様々な職種の職員間連携によるチームケアを評価している。</p> <p>■ 幕張ファーム ベチカ(千葉県習志野市)</p> <p>★ 幕張ファーム ベチカについて</p> <p>◆ ①幕張新都心に設置され、当面利用見込みのない共同溝を活用して、民間事業者が地下野菜工場を立ち上げ試験栽培を始めている。 ②地下空間の人工光と管理された環境の下、基本的に無人状態で24時間の野菜(レタス)栽培が行われている。 ③本格栽培となれば、均一な品質で一定の数量が安定的に確保される。</p> <p>■ 新潟県糸魚川市【藤田均除く】</p> <p>★ 糸魚川市駅北大火について</p> <p>◆ ①冬場としては珍しいフェーン現象で乾燥した南からの強風に煽られ、消失範囲は約4万平方メートル、火元から約300メートル離れた日本海沿岸まで燃え広がり、火災としては初めて被災者生活再建支援法(風害による)に適用された。 ②平成29年8月に復興まちづくり計画を策定し、火災や災害に強いまちづくりや糸魚川らしい景観、まちなみ再生に取り組むことを位置付けている。</p> <p>■ 長野県小諸市【藤田均のみ】</p> <p>★ 学校給食について</p> <p>◆ ①地域全体で1953年から食育に取り組み、学校毎の単独給食調理室にこだわり、各学校で調理する直営の自校給食をすべての中学校で行っている。 ②少しでも農産物を減らした地元の安全でおいしい農産物を使い、各校に配置された栄養教諭が地元食材を多く取り入れた献立を考え、調理員の手際の良い調理により、「暖かいもの」「冷たいもの」が適温の学校給食として子どもたちに提供されている。</p> <p>■ 富山県富山市</p> <p>★ 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりについて</p> <p>◆ ①鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に住居、商業、業務、文化等の都市文化の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくりを実現。 ②利用者の減少が続いたJR富山港線に公設民営の考え方を導入し、日本初の本格的LRTシステムを甦らせた。 ③中心市街地活性化と都心区域の回遊性の強化を目的に、市内電車を一部延伸。日本初の上下分離方式の導入。</p>